



## あめ ひ 雨の日にチョウはどこにいるの

### くさ き は した あまやど 草や木の葉の下で雨宿り

チョウのような、こん 虫の仲間は、変温動物なのです。人間などとちがって、体温を一定に調節しておくことができません。そのため、雨が降って気温が下がると、自分の体温も下がりがり、あまり動けなくなります。そこで、雨のあたらない葉のかけなどに、羽をぴったりとじて、じっとかかれています。

### たいよう あらわ にっこうよく 太陽が現れたら日光浴

雨が上がり、日が射してきたら、まず日光浴をして体を暖めます。かかっていた葉のかけから出てきて、日光が良くあたる方向に、羽をいっぱいに広げてじっとしています。体が十分に温まったら、羽を開いたり閉じたりして準備運動をし、飛び立っていきます。

### チョウは、みず 水にぬれにくい

チョウの羽を手でつまむと、手に粉がつきますね。これは「りん粉」とよばれ、水をはじく役目をします。チョウの羽は、ぬれにくくなっているのです。雨が降りだしたら、おおいそぎで飛んで、雨宿りの場所をさがすのでしょうか。（監修・中山 周平）

